

燕島に於けるウミネコの「渡り」の時季

青森縣師範學校 和 田 千 藏

予は青森縣八戸市鮫町なる燕島に於ける *Larus crassirostris* VIELLOT
ウミネコの渡りに關し、數年來調査せし結果渡りの時季解決上次の事項を
認めたり。一九二〇年乃至一九二九年の十ヶ年間の去來期次表の如し。

年 次	渡來期(初日)		渡去期(終日)	
	月	日	月	日
1920 (9)	3	8	9	27
1921		24	9	29
1922		12	8	3
1923		5	8	15
1924		18	8	27
1925		22	9	23
1926		15	9	3
1927		2	9	23
1928		10	9	7
1929		12	9	18
概 括	3 月 中 旬		9 月 中 旬	

上表により燕島には三月中旬より出現し、營巢育雛を遂げ九月中旬に
立去ることを知れり。尙南方蕃殖地の渡去期との關係を確めんため、數理
的に考證せし結果次の事項を知れり。

蓄殖地名	緯度	來期	去期	逗留期間
島根縣經島	35°.25'	一月中旬	七月中旬	約六ヶ月
宮城縣江之島	38°.23'	二月中旬	八月中旬	約六ヶ月
青森縣燕島	40°.32'	三月中旬	九月中旬	約六ヶ月

茲に於て該島は緯度一度(約一二軒)を北上するに約二週間(一日平均約八軒)を要す、燕島にては南方蓄殖地より約八週間後れて去來することとなる。

本州に於けるウミネコ蓄殖地は上記三ヶ所の外、太平洋岸にては和歌山縣日高郡比井崎村日御崎西方大倉礁、岩手縣氣仙郡廣田村椿島、日本海岸の山形縣飽海郡飛島村御積島等にして、何れも神社鎮座し島面には雜草^{オホクラバエ}し居る條件存在す。本稿作成に際し靑山徳太郎、熊谷三郎、曾田競一諸氏より、諸種の文獻を寄せられたることを感謝す。